

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業  
MSM に対する有効な HIV 検査提供とハイリスク層への介入に関する研究  
総括・分担 研究報告書

**東北における MSM に対する検査提供と介入の効果評価**

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）  
研究協力者：太田貴（やろっこ）

**研究要旨**

総計 206 キットを配布した。コミュニティセンターでの対面配布 27 件、WEB での配布が 179 件であった。

アンケートに回答し有効回答であったものは 168 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 126 名であった。97.6%が結果サイトにログインしていた。HIV 陽性件数は 1 件、梅毒の陽性件数は 13 件（既感染も含む）であった。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 12 名においては、30 歳未満が 8.3% を占めた。東北地域の居住者が 100.0% であった。生涯初の検査経験割合は 25.0% であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 41.7% であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかつた人は 41.7% を占めた。

WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 62 名においては、30 歳未満が 48.4% を占めた。東北地域の居住者が 95.2% であった。生涯初の検査経験割合は 22.6% であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 45.2% であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかつた人は 50.0% を占めた。

東北地域で、ゆうそう検査キットの配布を実施した。ゆうそう検査キットをほぼ計画通りに実施できた。特に WEB での申し込み、郵便局での受け取りニーズが高いことが明らかとなった。

**A. 研究目的と背景**

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながることがいわれている。保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和 2 年 2 月からの新型コロナ感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となつた。

東北地域では、自己採血の DBS 検体を送付しスクリーニング検査を受けるゆうそう検査をコミュニティセンター ZEL での配布と WEB にて配布を行つた。

**B. 研究方法**

コミュニティセンター ZEL では、本ゆうそう検査に関する説明事項を含むメッセージをやろっこの公式 HP、ポスター、4 種類の SNS、ブ

ログ、フリーペーパーと公式 Twitter 等の SNS で配信した。またゲイ向けアプリの起動時広告も活用した。また北海道地域とも連携し、アプリ広告を活用した広報を行つた。

検査キット受け取り希望者はコミュニティセンターに直接来館し、その場でアンケート QR コードを提示し、自分のスマートフォンから答えてもらい、アンケート回答後にコミュニティセンタースタッフが検査に関して説明をして、最後に受け渡す方法をとつた。

また、インターネット上の広報からアンケートページにつなぎ、その後、郵送検査の自宅・郵便局での受け取りのページに進める WEB 完結型の方法を併用した。

なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

## C. 研究結果

### 1) 検査キットの配布日・配布件数

#### ①対面配布

2021年9月17日から12月12日

配布キット数 27セット

#### ②WEB配布

2021年9月17日から12月16日

配布キット数 179セット

受け取り方法：自宅または郵便局で受け取り

表1 郵送検査利用者の概要

	地域	東北
	CBO	やろっこ
	コミュニティセンター	ZEL
a 配布総数		206
対面配布数		27
WEB配布数		179
b 受検者アンケート回答者数		168
c 利用者数；郵送検査会社での受付数		126
利用率；配布数に占める利用者数(c/a)		61.2%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録（割合 d/c）		123 ( 97.6% )
<b>抗体検査結果</b>		
□ HIV感染症		
e 判定不能者数 (割合 e/c)		3 ( 2.4% )
f 陽性数 (割合 f/c)		1 ( 0.8% )
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		0.0 ( 0.0% )
□ 梅毒		
g 判定不能者数 (割合 g/c)		5 ( 4.0% )
h 陽性数 (割合 h/c)		13 ( 10.7% )
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		6.5 ( 5.4% )
i 追跡可能者実数；無料ID使用者数 (割合 i/c)		74 ( 58.7% )
j 事後アンケート回答者数 (割合 j/c)		80 ( 63.5% )
k 追跡可能な事後アンケート回答者数 (割合 k/c)		49 ( 38.9% )

\* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、(利用者数-判定不能者数)に乘じて求めた。

\*\* すべての集計より再受検の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地が不一致の場合も含む。

### 2) 検体の送付状況とアンケートの結果

総計 206 キットを配布した。コミュニティセンターでの対面配布 27 件、WEB での配布が 179 件であった。

アンケートに回答し有効回答であったものは 168 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 126 名であった。97.6% が結果サイトにログインしていた。

HIV 陽性件数は 1 件、梅毒の陽性件数は 13 件（既感染も含む）であった。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 12 名においては、30 歳未満が 8.3% を占めた。東北地域の居住者が

100.0% であった。生涯初の検査経験割合は 25.0% であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 41.7% であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかつた人は 41.7% を占めた。

WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 62 名においては、30 歳未満が 48.4% を占めた。東北地域の居住者が 95.2% であった。生涯初の検査経験割合は 22.6% であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 45.2% であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかつた人は 50.0% を占めた。

## D. 考察

今年度は新型コロナウイルスの影響で、保健所での HIV 検査が休止になり、定期的に保健所で検査を受けていた人が、キットを受け取りに来ることがあった。また検査結果へのログイン割合も昨年度より上昇していた。

会場配布は 27 件であった。ZEL 利用者のみならず、初来館のものもいた。検査キットの会場配布がコミュニティセンターへの来館促進につながったと考えられた。アプリ広告は効果があった。キット受け取り者からは、保健所の検査が休止しているので検査を受けられずにいたのでありがたいとの声。とりあえず受け取っておいて、期限ギリギリまで使わないという行動が多く見られた。

また東北地域は広範囲であるため、会場へのアクセスにも課題がある。そのため、自宅・郵便局受取りのニーズが高いことが明らかとなつた。

またこの配布の機会を通じて、キット受け取り者の多様な相談対応につながった。具体的には、PrEP、U=U、陽性判明時の相談、梅毒の治療などの相談が寄せられた。

## E. 結論

東北地域で、ゆうそう検査キットの配布を実施した。ゆうそう検査キットをほぼ計画通りに実施できた。特に WEB での申し込み、郵便局での受け取りニーズが高いことが明らかとなつた。

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

- 5) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, AIDS Care, 2020.  
DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339
- 6) 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. 日本エイズ学会誌, 23(2), 2021.
- 7) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. 日本エイズ学会誌, 23(1), 18-25, 2021.
- 8) 金子典代, 塩野徳史: MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義. 日本エイズ学会誌, 22(3), 136-146, 2020

### 2. 学会発表 (国外)

- 1) Anand Tarandeep, Nitpolprasert Chattiya, Shirasaka Takuma, Iwatani Yasumasa, Yokomaku Yoshiyuki, Imahashi Mayumi, Kaneko Noriyo, Iwahashi Kota, Ikushima Yuzuru, Aoki Rieko, Ishida Toshihiko, Shiono Satoshi, Yamaguchi Masazumi, Takemura Keizo, Iwamoto Aikichi: HIV Prevention among MSM in JAPAN: Current Opinions on Achieving the First 90 among Japanese MSM. The International Congress on Drug Therapy in HIV Infection(HIV Glasgow 2020), Glasgow, 2020.

### 3. 学会発表 (国内)

- 3) 井上洋士、後藤大輔、船石翔馬、高橋良介、塩野徳史、金子典代: 成人前期 (20 歳代) MSM での性行動と HIV・性感染症認識に関する面接調査研究. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 4) 太田ふとし: 東北地域における、MSM を対象とした郵送 HIV・梅毒検査キット配布の取り組み. 日本エイズ学会シンポジウム, 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2021
- 5) 浅沼智也、金子典代、荒木順、生島嗣、塩

野徳史、砂川秀樹、宮田りりい、今村顕史：  
トランスジェンダーとセクシュアルヘルス.  
GID 学会第 23 回研究大会・総会, WEB 開催,  
2022

## G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

表2 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

	配布方法とIDの利用状況											Pearson カイ2乗	
	アンケート 回答のみ	ID使用				ID不使用				合計			
		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布								
配布CBO	やろっこ/ZEL(東北)	94	9.5%	12	2.4%	62	15.0%	3	3.0%	49	17.5%	220	9.6%
検査DATA 採取した月													
	2021年9月	5	41.7%	30	48.4%			15	30.6%	50	40.7%	0.22	
	2021年10月	2	16.7%	15	24.2%			9	18.4%	26	21.1%		
	2021年11月	0	0.0%	4	6.5%			9	18.4%	13	10.6%		
	2021年12月	2	16.7%	4	6.5%			4	8.2%	10	8.1%		
	2022年1月	3	25.0%	9	14.5%			12	24.5%	24	19.5%		
	合計	12	100.0%	62	100.0%			49	100.0%	123	100.0%		
検査DATA HIV感染症スクリーニング検査結果													
	初めて陽性と知った	0	0.0%	0	0.0%			1	2.0%	1	0.8%	0.34	
	陰性だった	12	100.0%	59	95.2%			48	98.0%	119	96.7%		
	判定不能	0	0.0%	3	4.8%			0	0.0%	3	2.4%		
	再罹患	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%		
	合計	12	100.0%	62	100.0%			49	100.0%	123	100.0%		
検査DATA 梅毒抗体検査結果													
	既往あり	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	0.09	
	初めて陽性と知った	2	16.7%	2	3.2%			3	6.1%	7	5.7%		
	陰性だった	9	75.0%	52	83.9%			46	93.9%	107	87.0%		
	判定不能	0	0.0%	4	6.5%			0	0.0%	4	3.3%		
	再罹患	1	8.3%	4	6.5%			0	0.0%	5	4.1%		
	合計	12	100.0%	62	100.0%			49	100.0%	123	100.0%		
検査DATA 結果閲覧の状況													
	未読	0	0.0%	2	3.2%			0	0.0%	2	1.6%	0.37	
	既読	12	100.0%	60	96.8%			49	100.0%	121	98.4%		
	合計	12	100.0%	62	100.0%			49	100.0%	123	100.0%		
年齢階級(10歳区分)													
	29歳以下	32	34.0%	1	8.3%	30	48.4%	14	28.6%	77	35.5%	0.02	
	30-39歳	34	36.2%	4	33.3%	15	24.2%	11	22.4%	64	29.5%		
	40-49歳	19	20.2%	4	33.3%	11	17.7%	16	32.7%	50	23.0%		
	50-59歳	9	9.6%	2	16.7%	5	8.1%	8	16.3%	24	11.1%		
	60歳以上	0	0.0%	1	8.3%	1	1.6%	0	0.0%	2	0.9%		
	年齢不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
	合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	49	100.0%	217	100.0%		

表3 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	配布方法とIDの利用状況											Pearson カイ2乗	
	アンケート		ID使用				ID不使用				合計		
	回答のみ		対面配布	WEB配布			対面配布	WEB配布					
居住地													
北海道	1	1.1%	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	2	1.0%	0.12		
東北	90	95.7%	12	100.0%	59	95.2%	24	85.7%	185	94.4%			
北関東	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
東京	1	1.1%	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	2	1.0%			
南関東	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%			
甲信越	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
北陸	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
東海	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	1	0.5%			
近畿	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.6%	2	1.0%			
中国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
四国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
九州	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
沖縄	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	10.7%	3	1.5%			
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	28	100.0%	196	100.0%			
国籍													
日本	93	98.9%	12	100.0%	60	96.8%	165	98.2%	0.74				
アジア	1	1.1%	0	0.0%	1	1.6%	2	1.2%					
欧米	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	1	0.6%					
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	168	100.0%					
【事後アンケート】あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。													
中心市街地			3	50.0%	14	32.6%	15	53.6%	32	41.6%	0.60		
郊外住宅地			3	50.0%	22	51.2%	10	35.7%	35	45.5%			
農村地域・漁村地域			0	0.0%	6	14.0%	3	10.7%	9	11.7%			
山間部			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
離島			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
無回答			0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%	1	1.3%			
合計			6	100.0%	43	100.0%	28	100.0%	77	100.0%			
性別													
男性	93	98.9%	12	100.0%	62	100.0%	49	100.0%	216	99.5%	0.73		
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
トランスジェンダー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
その他	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%			
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	49	100.0%	217	100.0%			
【事後アンケート】あなたはトランスジェンダーですか。													
はい			2	33.3%	1	2.3%	0	0.0%	3	3.9%	<0.01		
いいえ			4	66.7%	41	95.3%	27	96.4%	72	93.5%			
無回答			0	0.0%	1	2.3%	1	3.6%	2	2.6%			
合計			6	100.0%	43	100.0%	28	100.0%	77	100.0%			
居住形態													
独居	55	58.5%	7	58.3%	36	58.1%	98	58.3%	1.00				
同居	39	41.5%	5	41.7%	26	41.9%	70	41.7%					
定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	168	100.0%					

表4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 受検行動と商業施設利用、CBO活動認知

	配布方法とIDの利用状況							Pearson カイ2乗	
	アンケート		ID使用		ID不使用		合計		
	回答のみ	対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布				
<b>今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。</b>									
ある	65	69.1%	9	75.0%	48	77.4%	122	72.6% 0.52	
ない（今回が初めての検査）	29	30.9%	3	25.0%	14	22.6%	46	27.4%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	168	100.0%	
<b>今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。</b>									
ある	37	39.4%	5	41.7%	28	45.2%	70	41.7% 0.77	
ない	57	60.6%	7	58.3%	34	54.8%	98	58.3%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	168	100.0%	
<b>過去1年の受検場所（複数回答）</b>									
保健所	16	17.0%	1	8.3%	14	22.6%	31	18.5% 0.81	
病院/クリニック	5	5.3%	1	8.3%	2	3.2%	8	4.8% 0.88	
郵送検査	17	18.1%	4	33.3%	18	29.0%	39	23.2% 0.57	
その他	3	3.2%	1	8.3%	1	1.6%	5	3.0% 0.78	
<b>過去6ヵ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）</b>									
ゲイバー	16	17.0%	2	16.7%	20	32.3%	38	22.6% 0.07	
ゲイイベント	2	2.1%	2	16.7%	0	0.0%	4	2.4% <0.01	
ゲイショップ	1	1.1%	0	0.0%	6	9.7%	7	4.2% 0.02	
有料のハッテン場	15	16.0%	5	41.7%	11	17.7%	31	18.5% 0.10	
野外のハッテン場	14	14.9%	4	33.3%	15	24.2%	33	19.6% 0.17	
いずれもない	56	59.6%	5	41.7%	27	43.5%	88	52.4% 0.11	
<b>過去6ヵ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために以下のSNSや掲示板を利用しましたか。（複数回答）</b>									
Twitter	28	29.8%	3	25.0%	23	37.1%	54	32.1% 0.54	
Instagram	6	6.4%	1	8.3%	3	4.8%	10	6.0% 0.87	
VERO	11	11.7%	1	8.3%	5	8.1%	17	10.1% 0.74	
9monsters	84	89.4%	9	75.0%	57	91.9%	150	89.3% 0.22	
Men's Net Japan	7	7.4%	1	8.3%	10	16.1%	18	10.7% 0.22	
KO-MENSTV	19	20.2%	4	33.3%	14	22.6%	37	22.0% 0.58	
その他	7	7.4%	1	8.3%	7	11.3%	15	8.9% 0.71	
いずれもない	6	6.4%	1	8.3%	3	4.8%	10	6.0% 0.87	
<b>過去1年間に、NGOや予防啓発を行なう団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか。</b>									
受け取っていない	82	87.2%	8	66.7%	41	66.1%	131	78.0% 0.03	
受け取ったけど、利用していない	1	1.1%	0	0.0%	1	1.6%	2	1.2%	
受け取って、利用した	11	11.7%	4	33.3%	20	32.3%	35	20.8%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	168	100.0%	
<b>あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか。</b>									
よく知っている	5	5.3%	3	25.0%	6	9.7%	14	8.3% 0.14	
少し知っている	29	30.9%	4	33.3%	25	40.3%	58	34.5%	
あまり知らない	42	44.7%	5	41.7%	21	33.9%	68	40.5%	
全く知らない	18	19.1%	0	0.0%	10	16.1%	28	16.7%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	168	100.0%	

表5 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動①

	配布方法とIDの利用状況							Pearson カイ2乗	
	アンケート		ID使用			ID不使用			
	回答のみ		対面配布	WEB配布		対面配布	WEB配布		
<b>過去6ヶ月間に男性とセックスをしたことがありますか？</b>									
ある	84	89.4%	11	91.7%	58	93.5%	153	91.1% 0.67	
ない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%	15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	168	100.0%	
<b>過去6ヶ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）</b>									
彼氏や恋人	11	11.7%	4	33.3%	14	22.6%	29	17.3% 0.21	
友達やセフレ	60	63.8%	7	58.3%	39	62.9%	106	63.1% 0.87	
その場限りの相手	52	55.3%	5	41.7%	31	50.0%	88	52.4% 0.64	
その他	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%	15	8.9% 0.67	
<b>過去6ヶ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。</b>									
ある	71	75.5%	9	75.0%	51	82.3%	131	78.0% 0.86	
ない	13	13.8%	2	16.7%	7	11.3%	22	13.1%	
過去6ヶ月間にはない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%	15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	168	100.0%	
<b>過去6ヶ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。</b>									
ある	19	20.2%	7	58.3%	15	24.2%	41	24.4% 0.06	
ない	65	69.1%	4	33.3%	43	69.4%	112	66.7%	
過去6ヶ月間にはない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%	15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	168	100.0%	
<b>過去6ヶ月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか。</b>									
ある	19	20.2%	3	25.0%	10	16.1%	32	19.0% 0.79	
ない	65	69.1%	8	66.7%	48	77.4%	121	72.0%	
過去6ヶ月間にはない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%	15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	168	100.0%	
<b>過去6ヶ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。</b>									
ある	3	3.2%	1	8.3%	4	6.5%	8	4.8% 0.75	
ない	81	86.2%	10	83.3%	54	87.1%	145	86.3%	
過去6ヶ月間にはない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%	15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	168	100.0%	
<b>過去6ヶ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。</b>									
ある	5	5.3%	0	0.0%	1	1.6%	6	3.6% 0.57	
ない	79	84.0%	11	91.7%	57	91.9%	147	87.5%	
過去6ヶ月間にはない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%	15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	168	100.0%	
<b>過去6ヶ月間に、セックスのときにドラッグを使用したことがありますか。</b>									
ある	0	0.0%	1	8.3%	1	1.6%	2	1.2% 0.13	
ない	84	89.4%	10	83.3%	57	91.9%	151	89.9%	
過去6ヶ月間にはない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%	15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	168	100.0%	
<b>過去6ヶ月間のコンドーム使用状況</b>									
非常用	65	69.1%	8	66.7%	47	75.8%	120	71.4% 0.86	
常用	19	20.2%	3	25.0%	11	17.7%	33	19.6%	
過去6ヶ月間にはない	10	10.6%	1	8.3%	4	6.5%	15	8.9%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	168	100.0%	

表6 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動②および利用後の状況

	配布方法とIDの利用状況							Pearson カイ2乗	
	アンケート 回答のみ	ID使用		ID不使用		合計			
		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布				
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか。									
とてもよく知っている	15	16.0%	4	33.3%	15	24.2%	34	20.2% 0.17	
具体的には知らないが、聞いた	64	68.1%	5	41.7%	42	67.7%	111	66.1%	
まったく知らない	15	16.0%	3	25.0%	5	8.1%	23	13.7%	
合計	94	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	168	100.0%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」に対する使用意図									
服薬したくない/どちらかといえば	20	21.7%	2	18.2%	6	9.7%	28	17.0% 0.15	
服薬したい/どちらかといえば	72	78.3%	9	81.8%	56	90.3%	137	83.0%	
合計	92	100.0%	11	100.0%	62	100.0%	165	100.0%	
過去6ヶ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」の使用経験									
ない	88	95.7%	10	90.9%	53	85.5%	151	91.5% 0.08	
ある	4	4.3%	1	9.1%	9	14.5%	14	8.5%	
合計	92	100.0%	11	100.0%	62	100.0%	165	100.0%	
これまでにかかったことがある性感染症はありますか。（複数回答）									
梅毒	7	7.4%	1	8.3%	4	6.5%	12	7.1% 0.96	
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
B型肝炎	2	2.1%	1	8.3%	2	3.2%	5	3.0% 0.49	
C型肝炎	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6% 0.67	
クラミジア	8	8.5%	0	0.0%	6	9.7%	14	8.3% 0.54	
尖圭コンジローマ	3	3.2%	1	8.3%	2	3.2%	6	3.6% 0.65	
淋病	6	6.4%	0	0.0%	2	3.2%	8	4.8% 0.48	
HIV感染症	2	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.2% 0.45	
赤痢アメーバ	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6% 0.67	
毛じらみ	20	21.3%	3	25.0%	11	17.7%	34	20.2% 0.79	
性器ヘルペス	7	7.4%	0	0.0%	3	4.8%	10	6.0% 0.53	
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	1	0.6% 0.42	
いづれもない	61	64.9%	7	58.3%	42	67.7%	110	65.5% 0.81	
【事後アンケート】この検査キットのプログラムをどこで知りましたか。（複数回答）									
アプリ広告で知った	4	66.7%	34	79.1%	23	82.1%	61	79.2% 0.81	
インターネットで知った	2	33.3%	7	16.3%	2	7.1%	11	14.3% 0.41	
コミュニティセンターで知った	1	16.7%	2	4.7%	0	0.0%	3	3.9% 0.33	
ゲイバーで知った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
友達から聞いた	1	16.7%	3	7.0%	2	7.1%	6	7.8% 0.83	
その他	0	0.0%	1	2.3%	1	3.6%	2	2.6% 0.90	
【事後アンケート】指先からの採血は簡単でしたか。									
簡単だった	5	83.3%	34	79.1%	19	67.9%	58	75.3% 0.55	
どちらでもない	1	16.7%	3	7.0%	1	3.6%	5	6.5%	
難しかった	0	0.0%	4	9.3%	6	21.4%	10	13.0%	
無回答	0	0.0%	2	4.7%	2	7.1%	4	5.2%	
合計	6	100.0%	43	100.0%	28	100.0%	77	100.0%	
【事後アンケート】この検査キットのIDがもらえる「ゆうそう検査アンケート」に回答しましたか。									
回答した	6	100.0%	42	97.7%	22	78.6%	70	90.9% 0.02	
していない	0	0.0%	0	0.0%	6	21.4%	6	7.8%	
無回答	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%	1	1.3%	
合計	6	100.0%	43	100.0%	28	100.0%	77	100.0%	

## 東北地域の予防啓発に関する 状況と検査機会の取り組み

### 2021年度の東北地域の状況

#### ①コミュニティの状況

青森：ゲイバー1店舗閉店 地域のMSM向け商業施設ゼロに（観光バーは有り）  
 秋田：変化なし（ゲイバーなし。観光バーは有り）  
 岩手：変化なし  
 宮城：ゲイバー1店舗 コロナ拡大で休業中  
     ハッテン場は通常営業（客足に変化なし）  
 山形：変化なし  
 福島：ゲイバー2店舗閉店

#### ②検査機会の動向

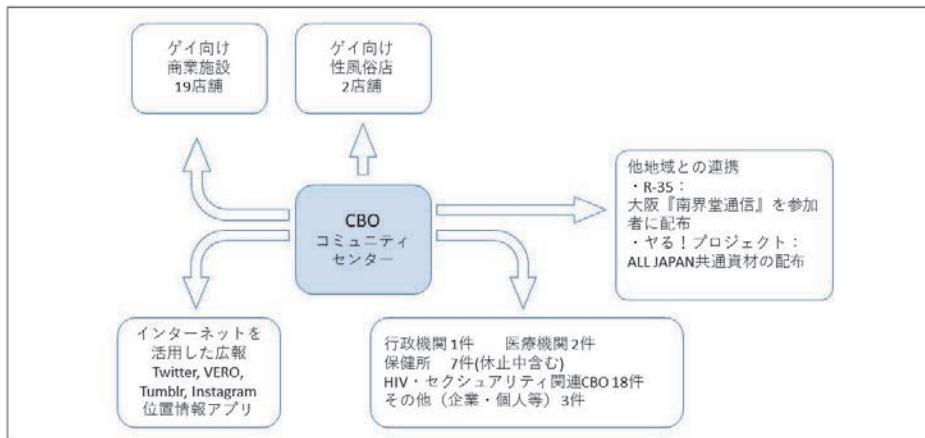
青森：県内すべての保健所で即日検査実施。今年度からほとんどの保健所でインターネット予約可  
 秋田：9ヶ所中最大6ヶ所の保健所で検査休止  
 岩手：県内全ての保健所で検査実施（盛岡市保健所が再開）  
 宮城：9ヶ所中1ヶ所の保健所で検査縮小  
     仙台：青葉区役所夜間検査再開、5ヶ所中4ヶ所休止、委託検査（夜間・土曜）は継続  
     保健所検査縮小のため仙台市の検査広報予算を「ゆうそう検査」の広報に使用  
 山形：一部の保健所で検査中止・検査縮小（5ヶ所中4ヶ所で実施を確認）  
 福島：いわき市保健所のみ再開

### 地域の商業施設数と連携

2021年1月31日時点

	地域の店舗数	連携店舗数	連携率（カバー率）	備考
ゲイバー	17	16	94%	青森0/0 秋田0/0 岩手3/4 青森9/9 山形2/2 福島2/2
有料ハッテン場	2	2	100%	
ゲイナイト	0	0	—	
ウリ専	1	1	100%	
ゲイショップ	1	1	100%	
サウナ・ホテル	2	0	0%	
マッサージ	7	1	14%	青森0/0 秋田0/0 岩手0/0 青森1/6（うち女性グループは1店舗としてカウント：マラペスト7人。 ニューハーフノックセラジーを除く） 山形0/1 福島0/1
ゲイ雑誌	0	0	—	
スマホアプリ	不明	2	—	Blued,9monsters
ウェブサイト	不明	1	—	G-click
ゲイサークル	不明	0	—	

## 普及啓発活動の状況



## コミュニティセンターの活動状況

2021年度

運営スタッフ数	：常勤	1人
	非常勤	1人、ボランティア 10人くらい
開館曜日	：日・月・火・金・土	
開館時間	：日・祝 15時～20時、平日 18時～22時	
総来場者数*	：434名 (前年度比113%)	
初来場者数*	：34名 (前年度比92%)	
相談件数*	：21件 (うち、セクシュアルヘルスに関する相談 8件)	

\*2021年4月～2022年1月まで

## 緊急事態宣言中の開館状況

期間	情報法関連(対宮城県)	宮城県独自	集会所への制限等	ZEL
3月26日～4月11日	—	宮城県・仙台市緊急事態宣言	公共施設休館	臨時休館
4月12日～5月11日	まん延防止等重点措置	宮城県・仙台市緊急事態宣言	20時までの時短要請	開館時間短縮
5月12日～6月13日	—	宮城県・仙台市緊急事態宣言 リバウンド防止徹底期間	—	通常開館
6月14日～7月11日	—	リバウンド防止徹底期間	—	通常開館
7月12日～8月11日	—	—	—	通常開館
8月12日～8月19日	—	宮城県・仙台市緊急事態宣言	—	通常開館
8月20日～8月26日	まん延防止等重点措置	宮城県・仙台市緊急事態宣言	20時までの時短要請	開館時間短縮
8月27日～9月12日	緊急事態宣言	宮城県・仙台市緊急事態宣言	20時までの時短要請	開館時間短縮
9月13日～9月30日	まん延防止等重点措置	宮城県・仙台市緊急事態宣言	20時までの時短要請	開館時間短縮
10月1日～10月31日	—	リバウンド防止徹底期間	—	通常開館
11月1日～1月31日	—	—	—	通常開館

## コミュニティセンターの活動状況

2021年1月31日時点

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来場者数	19	43	55	41	39	46	35	67	53	36			434
うち、新規	0	3	5	2	3	9	1	4	5	2			34
相談件数	0	3	1	2	1	3	4	1	5	1			21
WEB blogUU	424	368	403	474	453	1431	483	465	448	535			5484
WEB blogPV	1960	1877	1937	2067	2351	2940	1741	1612	1871	2648			21004
WEB SMSアラート登録数	91	103	739	103	141	236	212	221	193	149			2188

## ZEL UNDERWEAR+MASK PARTY

プログラムの目的・必要性：性行動が活発なMSMへのセンターの周知、予防行動の促進

対象：性行動が活発なMSM

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：スタッフ1名、ボランティア2名、支援者から寄贈の景品

実施内容（資材・WEB展開）：

- ①ゲームによる来場者同士の交流
- ②セクシュアルヘルス等の情報提供
- ③セーフアーセックス・スターターキットの配布



結果：

実施日時) 6/27(日)15:30-17:00、3/6(日)15:00-17:00 (予定)

参加者数) 6/27(日)11名 (初参加3名)

実施した反応) サイズ別コンドームの需要が高かった。



## SENDAI GAY GUIDE

プログラムの目的・必要性：仙台転入者へ向けたコミュニティセンターの周知と利用案内

対象：仙台に転入してきたMSM、商業施設をあまり利用しないMSM、仙台以外の東北各地在住MSM

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：スタッフ1名

実施内容（WEB展開）：

- ①コミュニティセンターの機能紹介
- ②東北・仙台のHIV・性感染症検査情報提供
- ③仙台市内の同性愛者等向け商業施設ガイド



結果：

実施日時) 5/8(土)18:30-19:00

参加者数) 0人

実施した反応) まん延防止等重点措置の適応期間中だったこともあり参加者がいなかった。

## R-35 35歳からのゲイライフ

### プログラムの目的・必要性：

コンドームの使用率が低く、HIV検査の受検経験も低い中高年向けの交流会を実施し、中高年が関心を持つ話題であるライフプランやセクシュアルヘルスに関する話題を提供する。

対象：主に35歳以上の中高年MSM

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：スタッフ1名

### 実施内容（WEB展開）：

- ①参加者自己紹介
- ②参加者からの話題提供
- ③セクシュアルヘルス等の情報提供



### 結果：

実施日時) 7/10(土)19:00-20:30、10/16(土)19:00-20:30、1/15(土)19:00-20:30

参加者数) 7/10(土)8名、10/16(土)4名、1/15(土)9名 計21名（初来館2名）

実施した反応)

参加者からHIV検査（仙台市の検査、ゆうそう検査）、PrEPについてなど話題提供や質問があった

## U=U PrEP勉強会

### プログラムの目的・必要性：

情報に敏感で多くの情報に触れる機会の多い大都市圏と異なり情報を入手する機会の少ない東北のMSMがHIV感染症についての最新情報を学べる機会をつくる

対象：HIVについての情報に触れる機会が少ないMSM

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：講師1名、スタッフ1名

### 実施内容（資料・WEB展開）：

ゲストからの話題提供、質疑応答

※参加できない人向けに勉強会の内容はセンター発行のFree Paperやウェブサイトにも掲載。  
SNSにはFree Paperの記事の画像を掲載した。



### 結果：

実施日時) 11/29(月)20:30-21:30（質疑応答22:00まで延長）

参加者数) 8人

実施した反応)

U=UやPrEPについて積極的に質問が出て、予定時間より30分延長して質疑応答を行った。

## HIV陽性者と語ろう

### プログラムの目的・必要性：

HIV陽性者やその周囲の人の話を聞くことにより、HIV感染症・エイズについて考え、いまだに存在する差別、偏見等の解消を目的とするとともに、HIVを身近に感じる機会とする。

対象：HIV陽性者の話を聞く機会が少ないMSM

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：ゲストスピーカー1名、スタッフ1名

### 実施内容（WEB展開）：

- ①グランドルールの説明
- ②ゲストからの話題提供
- ③質疑応答



### 結果：

実施日時) 3/20(日)18:00-19:30実施予定

参加者数)

実施した反応)

## Living Together in SENDAI

プログラムの目的・必要性：

HIV陽性者やその周囲の人が書いた手記の朗読により、HIV感染症・エイズのリアリティを伝え、いまだに存在する差別、偏見等の解消を図る。

対象：性行動が活発なMSM

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：スタッフ1名、ボランティア3名

実施内容（資材・WEB展開）：

①HIV陽性者やその周囲の人が書いた手記の朗読

②ゲームによる来場者同士の交流

ZEL UNDERWEAR+MASK PARTYの要素を入れて性行動が活発なMSMを対象として実施した。



結果：

実施日時) 11/6(土)15:00-17:00

参加者数) 12名 (初参加3名)

実施した反応)

手記集への関心が高く、新しい手記集はまだ発行されないのかという問合せもあった。



## コンドームまつり

プログラムの目的・必要性：

身近に販売されているコンドームや、センターで配布されているコンドームを形や大きさ、素材がわかる状態で展示し、コンドームの装着方法などの解説もつけて、コンドームの使用促進を図る。

対象：コンドームの使用に関して悩み等を抱えるMSM

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：スタッフ1名

実施内容（WEB展開）：

①様々な形状、大きさ、素材のコンドームの展示

②コンドームの装着方法の解説

③持ち帰り用コンドームの配布

④SNS(VERO)上での同時開催（画像・動画の掲載）



結果：

実施日時) 6/4(金)～6/15(火)

参加者数) 期間中の来場者 25名 (初来館2名)

アクセス数) 投稿(19件)へのいいね総数 530件

実施した反応)

簡単装着コンドームを模型に装着する動画には  
「こんなのがあるとは知らなかった。これは大発明ですね」  
などのコメントが寄せられた。



## community center ZEL Free Paper

プログラムの目的・必要性：

HIV検査受検促進とコンドーム使用行動促進を図る啓発資料として、作成・配布

対象：東北地域MSM向け商業施設約20施設、上野MSM向け商業施設1施設、

宮城県・仙台市のエイズ対策担当課、宮城県内・仙台市内の保健所、他地域のセンターほか

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：デザイナー1名、スタッフ1名、ボランティア4名

実施内容（資材・WEB展開）：

①東北イベント・コミュニティ情報

②仙台市HIV検査情報

③特集

5月発行 センター活動報告

8月発行 検査情報（保健所検査、ゆうそう検査）

11月発行 レッドリボン30周年、HIV検査情報

2月発行 U=U、PrEP勉強会報告



結果：

実施日時) 5月初旬、8月初旬、11月初旬、2月初旬

配布数) 各1,000部

## コンドーム配布

プログラムの目的・必要性：コンドーム使用促進  
対象：東北地域MSM向け商業施設約20施設、上野MSM向け商業施設1施設ほか  
予算：コミュニティセンター事業費  
その他の投入資源：ボランティア2名、寄贈コンドーム、寄贈ローション

実施内容（資材展開）：  
アウトリーチ及び発送  
仙台市内の商業施設は3ヵ月に1回程度。  
岩手・山形・福島の商業施設は年1回。  
その他、商業施設からの要望に合わせて随時対応する。

結果：  
実施日時）5月初旬、8月初旬、11月初旬、2月初旬  
配布数）約4,000個  
実施した反応）  
店舗により、Lサイズ多め・Sサイズ多めなどの要望あり。  
寄贈の新素材コンドームや抗ウイルス剤入りも、好んで持ち帰る人がいる。  
掲載の画像は協力店舗の「届きました」ツイートより。



## Go To 検査 TOHOKU

プログラムの目的・必要性：  
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で縮小や変更されている保健所の検査情報などをまとめ、HIV検査の受検を促進する。  
対象：HIV検査の受検を検討しているMSM  
予算：コミュニティセンター事業費  
その他の投入資源：スタッフ1名（ロゴデザインは前年度作成のものを再使用）

実施内容（WEB展開）：  
①東北各県の保健所HIV検査情報へのリンクをまとめて掲載  
②仙台市内のクリニックの検査情報も合わせて掲載  
③HIVマップ、HIV検査相談マップなどへのリンクを掲載  
随時更新



結果：  
実施日時）随时  
アクセス数）不明  
実施した反応）特になし

## 東北ブロック「HIV検査担当者向け研修会」

プログラムの目的・必要性：  
HIV検査の現場における受検者への適切な対応・支援の基盤となる、MSMやセクシュアリティへの理解を深める。  
対象：HIV検査担当者（保健師、看護師、医師、検査技師など）  
予算：コミュニティセンター事業費  
その他の投入資源：講師1名、スタッフ1名、ボランティア2名

実施内容（資料・WEB展開）：  
①センターが行う同性愛者等に対するHIV/エイズの啓発活動  
②セクシュアリティの基礎及び東北地方の同性愛者等を取り巻く環境  
③HIV感染症の最新情報  
④HIV陽性者やその同性の人たちによる手記のリーディングワーク  
⑤地域の同性愛者当事者が受検者役を演じる模擬対応「セクシュアリティに配慮した相談実施」ほか

結果：  
実施日時）11/29(月)  
参加者数）7名  
実施した反応）  
新型コロナウイルス感染症拡大の影響でHIV検査担当になつたものの、実際の対応をしたことがないという担当者の参加が少なからずあり、模擬対応がとても参考になったとのことだった。

## 仙台市市民協働によるHIV・性感染症予防啓発及び検査受検促進事業

### プログラムの目的・必要性：

HIV・性感染症検査が必要な人に対して、必要な検査情報を提供することにより、HIV・性感染症検査の受検及び早期発見を促進すること並びに感染予防方法及びその重要性に関する情報を発信し、予防行動の啓発を図る。

対象：HIV・性感染症検査が必要な人

予算：地方行政事業費

### 実施内容（資材・WEB展開）：

- ①仙台HIVネットによる情報提供
- ②男性限定検査イベントin仙台の広報
- ③MSMを対象とした検査受検促進広告の作成  
(アプリケーション広告、ポスター・カードの作成)



### 結果：

- ①仙台HIVネット アクセス数) 2,321件
- ②10/16男性限定検査イベントin仙台 受検者数) 15名
- ③ゆうそう検査 利用者数)  
12/18青葉区役所即日検査 MSM受検者数) 6名



## ゆうそう検査の取り組み

2021年度

対象：東北在住のMSM

配布方法：①WEB申し込み→自宅または郵便局受取 ②センターでの対面配布

研究班以外の投入資源：コミュニティセンター事業費 / 地方行政事業費

### 工夫した内容（資材・WEB展開）(仙：仙台市予算 (コ)コミュニティセンター事業費

9月3日～16日(仙) 9月17日～23日(三) 12月6日～12日(仙) 12月13日～19日(仙)



フライヤー・ポスター(コ)

### 結果：

- 実施日時) ①WEB申し込み：9/17～12/16  
②対面配布：9/17～9/20、9/23～9/26、12/10～12/12  
配布数) ①WEB申し込み：170 (受付数179→重複申し込み含む)  
②対面配布：27

### 実施した反応)

- ・保健所の検査が休止しているので検査を受けられずにいたのでありがたいとの声。
- ・とりあえず受け取っておいて、期限ギリギリまで使わないという行動が多く見られた。

## 次年度の取り組みについて

### ・SNS活用による東北全体への周知

情報拡散と地元情報収集を行う「みちのく特派員」をSNSで公募

年に2回程度「みちのく特派員サミット」をオンラインで公開で開催

### ・新規来場者の誘致

性行動が活発な層 → ZUPを小規模にして回数を増やす

商業施設等非利用層 → ボードゲームイベントの新設

LGBTQ → caféイベントはコロナに左右されるので別の形で開催

### ・地域の実情に合わせたオンラインの活用

顔出しへのオンライン参加への抵抗感 → Twitterスペース利用、VEROの活用

### ・ゆうそう検査

仙台市予算で広報できるかはまだ不明。「とりあえずもらう」への対策が必要

21